



## 能登半島地震復興支援活動【2025年4月版】

2025/4/17

Japan Football Association

能登半島地震復興支援プロジェクト

# JFA



### JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

#### サッカーの普及

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。

#### サッカーの強化

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える。

#### 社会の発展への貢献

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには世界の人々との友好を深め、国際社会に貢献する。

### JFAのビジョン

#### 2024年1月1日 能登半島地震による被害

##### 人的被害

死者541人 行方不明2人 (3月11日時点)  
※災害関連死313人を含む

##### 建物損壊

住家被害163,724棟 (3月11日時点)

##### 公費解体 (災害廃棄物)

解体予定39,235棟 完了件数18,944棟  
解体率48.3% (2月末時点 石川県のみ)

##### 避難生活・応急仮設住宅

応急仮設住宅159か所6,882戸  
(12月24日時点 石川県のみ)

##### 学校、保育所等の被害

小学校487校、中学校222校、高校128校、  
219施設ほか (12月24日時点)

#### 2024年9月21日～23日 能登半島豪雨による被害

死者 16人 住家被害1,628棟  
(12月24日時点)  
応急仮設住宅5か所234戸 (うち1か所建設中)  
(3月18日現在)



JFAサッカーファミリー  
復興支援金



現在までにお預かりした支援金

85,791,225円

2024年12月末時点



JFAパートナーとの活動

日本赤十字社への義援金拠出

5,000,000円

2024年1月理事会決議

### 活動

JFAが被災者に対して直接実施

2024年度～26年度の計画  
約7,000万円

- ・子どもたちのこころのケア (アスリート訪問)
- ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の実施
- ・学校体育サポート
- ・その他、被災地における復興支援イベント開催や被災者の各種イベントへの招待
- ・豪雨後の災害ボランティア活動への参加

### 支援

コミュニケーション

2024年度～26年度の計画  
約1,300万円

被災地域の  
復興を応援

支援の輪を  
広げる

- ・復興支援マッチの開催等、大会・試合を通じた発信
- ・石川県協会の活動の支援 (登録料・交通費等)
- ・地域産業の支援 (ふるさと納税返礼品サポート)
- ・クラウドファンディングの実施
- ・チャリティオークションの実施
- ・被災地の現状を知ってもらう情報発信
- ・支援いただいている方々への情報発信
- ・豪雨後の情報発信、支援呼びかけ

### 施設整備・用具提供

2024年度～26年度の計画  
約1,500万円

- ・サッカー施設復旧支援
- ・ミニゴール、用具等の配布
- ・豪雨災害後の生活物資等の提供

### 数字で見るJFAの復興支援活動

2024年1月～2025年3月の実績  
※下線は前回報告からの更新部分

#### 子どもたちのこころのケア

アスリートによる学校・園への訪問

**138**回 **12,572**人

訪問したアスリート のべ**555**人

エースバーンの参加 **15**回

学校・園への訪問に関連して・・・

近隣の高齢者福祉施設等への訪問 **10**回

訪問後の災害ボランティア活動 **8**回  
(2024年9月豪雨災害後)

現地での移動距離 (主に金沢～能登半島各地)

約 **17,000**km

青森～鹿児島 (約1,900km) の**4**往復以上

#### コミュニティ支援

JFA・キリン ビッグスマイルフィールド

ウォーキングフットボールイベント **5**回 **332**人

#### 夢キャンプ

JFA Partnership Project for NOTO  
JFA夢フィールドでのSAMURAI BLUEとの交流

参加者数 **120**人

#### 復興支援マッチ

MS&ADカップ2024 なでしこジャパン vs ガーナ女子代表

観客数 **9,648**人

#### 支援物資の提供

飲料の提供 約**600**人分  
(豪雨災害後の緊急支援)

被災者へのウェアの提供 約**3,000**着

訪問園へのミニゴールの提供 約**100**セット

訪問園でのスターターキットの提供 約**2,000**セット

避難所等への缶詰の提供 約**2,000**セット

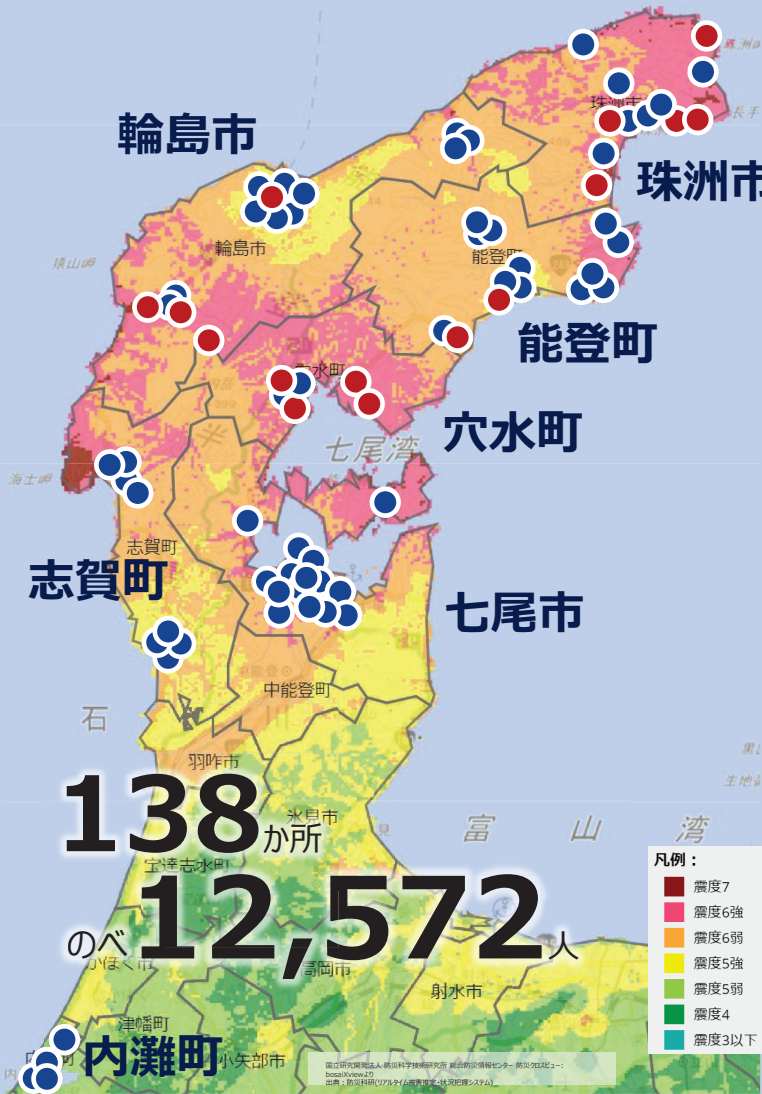
#### 文京区への招待

輪島市中学校のスポーツ交流・職場体験学習・夢の教室

参加した中学2年生 **80**人

多くのご支援により、様々な支援活動を実施することができました。  
ご協力ありがとうございます。引き続き、被災地へのあたたかい  
応援をよろしく願っています。

# 子どもたちのこころのケア訪問先



2024年9月の豪雨災害後にニーズの高かった奥能登2市2町において訪問を調整し、1月~3月の間に15か所972人の生徒・児童・園児を対象にスポーツによる交流を実施。輪島市6合同小学校と穴水町向洋小学校、光琳寺保育所は学校や保育所の施設の被害も大きくこれまで訪問できていなかったが、今回初めて訪問を実施した。

## 珠洲市

訪問先	訪問日	人数	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
飯田小学校	1/21	76	永島昭浩・小島伸幸・波戸康広	
蛸島小学校	2/25	26	小島伸幸	笹原龍・木村穂乃
正院小学校	2/25	17	小島伸幸	笹原龍・木村穂乃
上戸小学校	2/28	23	中西永輔・小林弥生	杉山美紗・門田祐輔
みさき小学校	3/6	34	田中隼磨・柏木陽介	坂井寛子・渥美万奈

## 輪島市

訪問先	訪問日	人数	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
輪島市/6合同小	1/16-17	277	中西永輔・安田理大	
松風台保育所	2/20	20	小島伸幸・田中隼磨	
門前高校	2/20	75	小島伸幸・田中隼磨	

## 能登町

訪問先	訪問日	人数	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
鶴川小学校	3/3	50	金田喜稔・前田治	
鶴川保育所	3/17	45	小林弥生・安田理大	
うしつ保育所	3/27	85	小島伸幸・中西永輔	

## 穴水町

訪問先	訪問日	人数	日本代表OBOG	日本財団HEROs/ツエーゲン金沢/トップリーグ機構等
穴水小学校	2/26	163	金田喜稔	木村穂乃・吉田冬優
光琳寺保育所	2/27	19	永島昭浩・波戸康広	石田太志・小口貴久
向洋小学校	2/27	25	永島昭浩・波戸康広	石田太志・小口貴久
平和こども園	3/6	37	田中隼磨・柏木陽介	坂井寛子・渥美万奈

- 今回 (2025年1月~3月) の訪問先 15回 対象者 972人
- 2024年度 (2024年2月~12月) の訪問先 125回 対象者 116,00人

# 能登半島地震復興支援活動報告

2024  
能登半島地震  
能登半島豪雨

2025  
1/17



輪島市  
6合同小学校



輪島市

金沢市

輪島市の中心部にある6つの小学校は、すべて建物の被害が大きく、校舎が使用できなくなった。地震発生後は輪島高校の校舎を利用し、さらに4月からは輪島中学校へ移って授業を受けていたが、夏に河井小学校の校庭に仮設校舎が完成し、同じ場所で授業を受けている。  
1月16日と17日は、中西永輔さんと安田理大さんが訪問し、3年生から6年生全員と身体を動かして楽しく交流した。また、16日の夜は地震後活動場所が限られてしまっている「輪島サッカークラブジュニア」が臨時的練習場所としている同校体育館下のピロティを訪れ、練習に参加して選手たちを激励した。

 **学校訪問  
まとめ映像** 

# 能登半島地震復興支援活動報告

輪島市町野町

2024  
能登半島地震  
能登半島豪雨

2025

2/28

# SAMURAI



輪島市

金沢市

2月28日から3月1日にかけて、新たに開始された内閣府の被災者支援団体向け交通費補助事業を活用し、SAMURAI BLUEのチームバス（JFA's DREAM）を用いた、職員有志による災害ボランティア活動を行った。現地で活動するボランティア団体と連携し、輪島市の南志見（なじみ）地区と、門前地区において、豪雨災害語の泥かきや住宅の片付けなどを行ったほか、輪島市町野町、珠洲市三崎地区、能登町柳田地区などで被災者のお話を聞いたり、バスの前で記念撮影を行うなどし交流を図った。



ボランティア活動  
まとめ映像



## 連載：心をひとつに～能登半島復興へ



被災地のサッカーファミリーが、地震発生後どのような状況にあって、復興に向けてどのように歩もうとしているのか、インタビューを行い、広く発信しています。

連載は3回まで終了し、今後も数名の方からお話を聞く予定です。

JFA.jp

連載ページへ ▶



### 第1回「僕たちは能登の人々と共に戦う」 ツエーゲン金沢・廣井友信クラブキャプテン

ツエーゲン金沢で2015年から2022年までプレーし、2023年から「クラブキャプテン」を務めている廣井友信さん。ファン・サポーターやパートナー企業、行政などをはじめ、クラブや選手の間に入って関わりながらクラブ内外での円滑なコミュニケーションと関係づくりに尽力されています。ホームタウンである能登半島への思い、クラブの復興支援活動について聞きました。

記事を読む ▶



### 第2回「輪島でサッカーを続けられる環境を」 輪島高校サッカー部顧問・中村邦弘さん

輪島高校サッカー部の顧問を担当し、輪島市サッカー協会では理事長を務める中村邦弘さん。地震発生時の状況や輪島市のサッカーを取り巻く現状、復興への思いについて聞きました。

記事を読む ▶



### 第3回「多くの支援に感謝。 この経験を未来につなげられるように」 珠洲エスパンサフットボールクラブ 砂山誠吾代表、和嶋昌樹コーチ

石川県珠洲市にある唯一の小学生サッカーチーム、珠洲エスパンサフットボールクラブ。砂山誠吾代表と和嶋昌樹コーチにチームの活動状況や珠洲市の現状などについて聞きました。

記事を読む ▶



## サッカーファミリー復興支援金

■クラウドファンディング（2024/2/26～5/15）

2,373,500円（目標の237%） 継続予定

被災地に力を | 能登半島地震サッカーファミリー復興支援金

■サッカーファミリー復興支援金口座（2024/2/26～）

4,841,569円 継続中

みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 3229041  
公益財団法人日本サッカー協会 サッカーファミリー復興支援金口  
ザイ)ニホ)サッカーキョウカイ サッカーファミリーフッコウシエンキンガチ

■試合会場等での募金活動 ■パートナー企業等からの支援

4,560,920円 2,397,951円 継続中

■チャリティオークション

25,950,285円 継続中

■チャリティTシャツ販売

441,600円

■復興支援マッチチケット販売額（2024/7/13）・同額をJFAが拠出

22,342,700円・22,342,700円



合計  
85,791,225円

(2024年12月末現在)

このほかに、多くの皆様から物品や役務等のご提供をいただきました。ありがとうございました。

### 今後の主な活動予定

4/20  
金沢



JFA・キリン ビッグスマイルフィールドを、能登半島の被災者を招いて金沢市のゴーゴーカーレスタジアムで開催予定。ウォーキングフットボールなどを通じて交流。当初10月13日に開催予定だったが、豪雨災害を受けて延期していたもの。



JFA PARTNERSHIP PROJECT for NOTOの一環として、JFAのパートナーとの連携により実施。

4月以降  
各地

#### 子どもたちのこころのケア（アスリート訪問） 災害ボランティア活動（家屋片付け等）

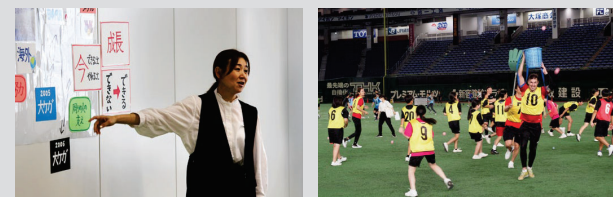
トップアスリートが学校・保育所等を訪問して実施する子どもたちのこころのケアおよび、豪雨災害後に開始した家屋片付け等の災害ボランティア活動を、日本財団等とも連携し、4月以降も継続して実施予定。また、6月に珠州市ノ三崎中学校の仮設グラウンドでJFAパートナーからの支援によりポット苗による芝生化を実施予定。



8月  
文京区



JFA×文京 Dream Project「街と能登の応援フェス」復興祈念スポーツ交流を、8月に輪島市の中学校2年生を招待し、文京区で開催予定。被災地で実施が困難になっている職場体験学習等の機会を、地域との連携の中で提供していく。



10月以降  
各地

#### 試合会場における被災者への連帯を示す取り組み（復興支援マッチ等）

10月以降に行われる、SAMURAI BLUE（日本代表）の試合等を用いて、能登半島地震の被災地との連帯を示す復興支援のための取り組み（復興支援マッチ）や、能登半島地震の経験を踏まえた今後の防災啓発活動等を実施予定。また、各種試合会場における募金活動や、チャリティーオークション等も継続して開催予定。



**Thank you.**

